

## 株式会社タチエス 2026年3月期 決算説明会 質疑応答要旨

日時：2026年5月26日 17:00～18:00

### 登壇者：

代表取締役社長           山本 雄一郎  
代表取締役執行役員      小松 篤司

### 【中東情勢の影響について】

**Q1. (説明資料 P15) 2027年3月期の業績見通しは中東情勢の緊張による影響は含んでいないとのことだが、現時点の影響および OEM の生産調整の状況について伺いたい。**

**A1.**

**山本**

- 当社が受注している車種においては中東向けの車種が少ないこと、また一部のお客様の減産についても年度内で挽回見込みとの連絡を受けていることから、現時点で当社業績への大きな影響は生じておらず、2027年3月期の業績見通しにも織り込んでいない。
- サプライチェーンにおいても、現時点で操業停止に至るような供給制約は発生していない。一方で、ナフサ由来部品（プラスチック・塗装・ウレタン等）については、業界全体と同様に通期での安定調達が必ずしも保証されていない状況にある。引き続きサプライヤーとの連携を通じて動向を注視していきたい。

### 【OEM の車種戦略変更の影響について】

**Q2. (説明資料 P15) OEM 各社の車種戦略の見直し、例えばホンダの BEV 開発の見直しやハイブリッド化等についての御社への影響および対応方針を伺いたい。**

**A2.**

**山本**

- ホンダ向けビジネスについては、当社が受注していた車種（EV）の開発がキャンセルとなったものの、代替となる HV 車およびガソリン車は受注できている。
- 今後、特に北米において新たな受注獲得の可能性があり、引き続き活動を押し進めていく。

### 【TOYO H&I との統合による影響について】

**Q3. (説明資料 P32) TOYO H&I との統合後の収益性および中期経営計画（TVE Wave2 2027）における財務目標への影響はどう見れば良いか。**

**A3.**

**山本**

- 統合完了は2026年8月3日を予定しており、現時点で統合後の具体的な数字はお伝えできかねる。売上高としては、説明資料 P 32 に記載の通り、2025年度ベースで約 3,600 億円規模を想定している。収益性については、両社のシナジー創出により更なる向上を目指している。

**小松**

- 当社中期経営計画「TVE Wave2 2027」における財務目標（ROE・ROIC）は、今回の統合により棄損するものではないと考えている。加えて、シナジー発現により、目標達成を後押しするものと考えている。

以上